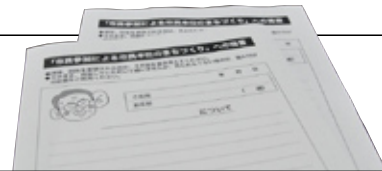


寄せられた意見をご紹介します



平成21年度は、1年間に市民のみなさんから市に対して306件のご意見・ご要望をお寄せいただきました。今年度も4月から10月末までの間に、317件いただいています。今回は、その中からいくつかを市からの回答とあわせてご紹介します。

なお、ご紹介する「提言内容」、「回答」は、趣旨を損なわない範囲で一部編集しています。

印鑑登録証明書はA4サイズでなければいけませんか

《提言内容》

印鑑登録証明書はA4サイズにする必要がありますか。印鑑の登録証明がわかれば用紙のサイズは関係ないと思うのですが。また資源の節約、経費削減にも繋がるのではないのでしょうか。



《回答：市民課》

ご承知のとおり、現在印鑑登録証明書はA4サイズの改ざん防止用紙を使用して発行しています。これは住民のみなさんがご覧になってわかりやすいように枠を設定したもので、本市の電算システム上、住民票の写しや戸籍謄本・抄本等と同一サイズで発行するようにしたものです。現時点で用紙の縮小を行うとすれば、多額の経費が必要となりますので、現行サイズの継続にご理解をいただきたいと思います。

しかしながら、これからのエコ時代に向けて、資源の節減という観点では証明書等のサイズ縮小（A5サイズ等）も必要と考えますので、今後、全庁的なシステム改修等の機会には検討したいと思います。

ごみステーション設置の補助金が少なすぎます

《提言内容》

ごみステーション新規設置にあたっての補助金上限2万円は少なすぎると思います。大きさに関係なく10万円前後はかかるため自治会負担が大きすぎます。小規模土木の助成金同様にしていただけませんか。



《回答：環境課》

市では、まちの美観や環境衛生保全の立場から、生ごみ等を衛生的に集積する環境を整えることを目的として、ごみ収納箱等設置補助金交付制度を設けています。昨今の収納箱は丈夫で機能的になる一方で価格も高額になっています。市としてもこの現状は理解していますが、本市の財政はひっ迫した状態にあり、現状の補助制度を見直すことは困難な状況にありますので、どうかご理解をいただきたいと思います。

